



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ 湯河原ロータリークラブ 週報



イマジン
ロータリー

2022年10月7日(金) 第2891回例会 形式:対面 天候:晴れ
合唱:君が代、我等の生業、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

過日3日の千歳川清掃には室伏幹事と共に参加出来ずに申し訳ありませんでした。ちょっと暑い日で大変でしたね。休み明けの月曜日のイベント参加はちょっと厳しいところがあります。

さて、先週ちょっと報告させて頂きま

したが、9月30、10月1、2日の3日間、国際交流協会のイベントで日本の日本語学校で学んでいる外国人招待会があり、私も今回初めて参加させて頂きました。例年ですとホームステイもあるようですが、今回はコロナの影響で石田会員の万葉荘さんへの宿泊となったようです。在京の日本語学校から7名の外国人が参加しておりました。ロータリーの米山奨学生もそうなのですが、中国含めたアジア系の外国人が多いのですが、今回はイタリア、オランダ等のヨーロッパ系が多いのにビックリしました。又彼らの日本語は素晴らしいもので、来日まだ4ヶ月なんて学生もいましたが、流ちょうな日本語で我々と会話をしてくれました。そして最終日には「STGs」についての討論会でした。パネリストは当クラブの葉さんが見事な司会ぶり、皆さんから意見を引き出していました、私が驚いたのは、海外から18~22才の若い男女が日本へ来て日本語を使い多くの発言をしている姿で、この子たちの教育の高さと向上心にビックリさせられました。

私も子育て、孫の教育と携わりましたが、こういう好奇心旺盛で教育願望の強い子供たちの家庭環境を含めた親の教育方針にビックリさせられた3日間でした。又の湯河原訪問を約束して駅で見送りさせて頂きました。そしてまた10数年前、この湯河原でのイベントに葉さんが参加し、湯河原と葉さんの関係が出来たのにも驚きでした。葉さん、今後も湯河原を宜しく、そして私と同じようにバディーとして応援してくれた石川さん、吉村さん、ご苦労さまでした。

連絡事項

1. 次週は山もみじの下草刈りです。10時に現地集合となります。なお、雨天の場合は、参加者へ FAX をしますので 11時から 11時 30分までにお弁当を万葉荘へ取りに来てください。宜しくお願い致します。

出席報告

会員	23 名	出席率	90.48 %
欠席	4 名	前回の修正出席率	72.73 %
(免除者)	2 名	前々回の修正出席率	68.18 %
ゲスト	1 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

ゲスト 湯河原町観光課長 宮下 睦史 様

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1. 10月のロータリーレート 1ドル145円
ガバナーより

1. 2025-26年度ガバナー・ノミネー候補者提案に関する告知
2025~2026年度ガバナー・ノミネー候補者として、貴クラブから再適任の会員を 2022年 12月 1日(木) 12時までにガバナー事務所気付 地区指名委員会宛に郵送または持参することを要請します。

スマイル Box

会員誕生日	深澤昌光君(9/1)
会員誕生日	丸塚順子君(10/7)
会員誕生日	櫻井武志君(10/9)
会員誕生日	伊藤伸之君(10/11)
ご夫人誕生日	石川博君(和様・10/1)
ご夫人誕生日	望月博文君(充様・10/12)
入会記念日	石川浩子君(2年・R2.10.2)

石川浩子君

葉さんが副委員長を務める国際交流に3日間ファミリーバディーとして参加いたしました。楽しかったです。

吉村行正君

先週は例会を欠席してしまい申し訳ありませんでした。国際交流事業に参加しておりました。



皆様こんにちは。本日は「地域旅館の高付加価値化プロジェクト」「コキアの郷整備構想(案)」「事業者向け原油価格高騰対策支援金」についてお話いたします。

・湯河原エリアをモデル地域とした『地域旅館の高付加価値化』プロジェクト

この話題は本年4月15日(会報委員会注:第2870回例会)の卓話にて富田幸宏町長よりお話した内容の続編となります。

令和4年度では過年度のプロジェクトで実践された良い流れを持続すべく、新たに観光庁が創設した「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化」補助事業に対し、湯河原町と湯河原温泉旅館協同組合が協力して補助金獲得の協議を進めることとなりました。その結果、湯河原町がエリアとして採択されました。

対象事業として「宿泊施設の高付加価値化→宿泊施設の大規模改修支援」「観光地魅力向上のための廃屋撤去→景観改善に資する廃屋の撤去支援」「観光施設改修→土産物店や飲食店等への改修支援」「公的施設への観光目的での改修→公共施設へのカフェ等の併設などの改修支援」が指定され、事業費総額は約20億円(うち補助申請額は約11億円)となります。実施スケジュールはコロナ禍による審査遅延の影響が出ていますが、交付決定から翌年2月頃までのおおよそ6ヶ月間が提案されています。

また本年度では、既存観光拠点整備事業(令和4年度分)も再募集をかけております。こちらは令和3年度事業にて採択された団体を対象に、再度「既存観光拠点再生計画」に基づく補助対象事業を募るもので、補助金額(上限額)は約1億4,600万円となっています。

今後も湯河原町観光課では、「日帰りでは楽しみきれないまち」をキーワードに、各種プロジェクトを進めて参ります。

・コキアの郷整備構想(案)

構想説明の前に、まずは湯河原町の月別入込観光客数(宿泊客及び日帰り客の合計)について説明いたします。配布した資料はコロナ禍前(平成29年～令和元年)3年間のグラフとなりますが、本町の入込観光客数の月別比較において、1～3月及び8～9月が少なくなっていることが読み取れます。また本町におけるイベント(2～3月:梅の宴、5月:さつきの郷、6月:ほたるの宴、7～8月:海水浴場、11月:もみじの郷)を概観しますと、海水浴場の終了後、11月の「もみじの郷」までイベントがないことが分かります。この課題への対応として、既

存イベントの有効活用だけでなく、当該期間に新たなイベントを計画することが考えられます。これは「ゆがわら2021プラン(湯河原町総合計画)」内基本目標1(1)観光資源の拡充・整備①イベントの充実 などにも位置づけられているもので、新たなイベント(案)が「コキアの郷」となります。

コキアは春に種をまく1年草で、7月中旬から9月中旬にはライトグリーンのコキアを、紅葉後の10月中旬には真っ赤なコキアを楽しむことができます。またコキアはほうきの材料として活用可能であること、ある地方では加工食品としても販売されていることから、様々な2次の活用が考えられます。

本年度は実証実験として、候補地での試験栽培と誘客見込みの判断を行うこととしています。候補地は星ヶ山公園の北側、放棄された茶園を想定しています。現在は土地所有者(南郷協同組合)との合意形成を行っている段階です。令和5年春に種まきを始め、秋口にはイベントの実施、その後種取りや刈り取りまでを組み入れた育成・整備計画を策定、改善し、令和6年度に第1回期間イベント「コキアの郷」の実施を検討しています。来場者数の目標は、令和9年度において「梅の宴」の約1/2にあたる27,000人としています。

・事業者向け原油価格高騰対策支援金

最後に湯河原町観光課より事業者の皆様へ、事業者向け支援金のお知らせです。

昨今の原油価格高騰に鑑み、湯河原町では事業者向け原油価格高騰対策支援金を制定しました。対象事業者は令和4年9月30日以前より町内において事業を営み、本支援金受給後も継続的に事業を行う意思がある、町内に本支店を有する法人、あるいは町内に住民登録を有する個人事業者(いずれも暴力団又は暴力団に関係していないこと)となります。

支給額は法人が4万円、個人事業者は2万円です。

申請にあたりましては

- ・支援金交付申請書及び支援金交付請求書
- ・直近年の確定申告書の写し又は青色申告決算書の写し(受付印が押印してあるページ)
- ・町外に本店がある場合、湯河原町内での事業活動を証する書類の写し
- ・個人の場合、本人確認ができる運転免許証等の写し
- ・開業後まもなく申告時期が未到来の事業所等については、開業届や営業許可証の写し

が必要となります。提出先(問い合わせ先)は下記窓口または郵送・メールとなりますので、ご確認ください。

〒259-0392 湯河原町中央 2-2-1

湯河原町 観光課 商工係

電話 0465-63-2111 (内線)711

eMail kanko@town.yugawara.kanagawa.jp

受付期間は令和4年10月11日(火)～令和5年2月28日(火)となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

(文・編集:葉維英(10月会報担当)／クラブ会報委員会)